

2018年5月7日

Press Release

報道関係・教育担当記者 各位

## 南山大学社会倫理研究所 2018 年度第 2 回懇話会開催のお知らせ

平素は、本学の広報活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本学社会倫理研究所では、下記の通り、2018 年度第 2 回懇話会を開催いたします。つきましては、取材、報道にてお取り扱いいただき、広く一般に周知いただければ幸いです。

なお、恐れ入りますが、取材にお越しいただける場合は、事前に本学社会倫理研究所までご連絡をお願いいたします。

### 記

日 時 : 2018 年 6 月 9 日 (土) 14 時 00 分～17 時 30 分 (13 時 30 分開場)

場 所 : 南山大学 R 棟 5 階 R55 教室

共通テーマ : 誰が子どもを育てるのか : 養子縁組をめぐる法・制度・倫理

講 師 1 : 梅澤彩 (熊本大学大学院法曹養成研究科 准教授)

演 題 1 : 特別養子縁組法制の再検討ー子の福祉の観点からー

講 師 2 : 白井千晶 (静岡大学人文社会科学部 教授)

演 題 2 : 出生前検査と子どもの障害を事由にした養子縁組

司会兼コメンテーター : 奥田太郎 (南山大学社会倫理研究所 第一種研究所員・人文学部教授)

コメンテーター : 森山花鈴 (南山大学社会倫理研究所 第一種研究所員・法学部講師)

主 催 : 南山大学社会倫理研究所

詳しくは、<http://rci.nanzan-u.ac.jp/ISE/ja/activities/event/012075.html> を  
ご参照ください。

以上

社会倫理研究所2018年度第2回懇話会  
(「いのちの支援」研究プロジェクト+「法・制度・倫理」研究プロジェクト)

# 誰が子どもを育てるのか

## 養子縁組をめぐる法・制度・倫理

日時：2018年6月9日(土) 14:00~17:30

場所：南山大学 R棟5階 R55教室 (13:30開場)

講師：**梅澤彩** (熊本大学大学院法曹養成研究科 准教授)

演題：特別養子縁組法制の再検討—子の福祉の観点から—

講師：**白井千晶** (静岡大学人文社会科学部 教授)

演題：出生前検査と子どもの障害を事由にした養子縁組

司会兼コメンテータ：**奥田太郎** (南山大学社会倫理研究所第一種研究所員)

コメンテータ：**森山花鈴** (南山大学社会倫理研究所第一種研究所員)

妊娠・出産・養育について語られるとき、いったいどこまで子どもの人生が視野に入れられているのでしょうか。また、子を授かる、産む、育てる、というプロセスは、すべて同一人物が連続的に担うべきものなのでしょうか。養育者(親)と子どもの個人的状況、生活拠点となる地域の社会的状況、支援をめぐる法的・制度的状況などによって問題のあり方は様々です。今回の懇話会では、家族に関わる問題について研究しておられるお二人の専門家をお招きして、養子縁組をめぐる法・制度・倫理の諸問題を知ることを通じて、子どもの養育のあり方を参加者のみなさんとともに考えたいと思います。

【お問合せ】南山大学社会倫理研究所

Phone : 052-832-3111 (内線 : 3413,3414) Fax : (052)832-3703

e-mail : ise-office@ic.nanzan-u.ac.jp HP : <http://rci.nanzan-u.ac.jp/ISE/>